Web開催研究会における聴講者・発表講演者ガイドライン

（１）著作権保護の観点から、Web開催中に配信される発表映像の写真撮影、録画および録音は絶対に行わないでください。

（２）聴講参加用（接続先）URLを第３者に知らせしないでください。
※参加申込者以外の方が接続先に入室された場合は、管理者側で削除いたします。

（３）講演者は、プログラム上に掲載された◎あるいは○印のある方のみが発表をすることを想定しています。共著者等が代理で発表することも可能ですが、その際は発表当日、座長までお知らせください。

（４）本研究会ではZoomシステムを使用します。設定は事務局が行い、聴講参加申込み後、ご登録いただいたメールアドレス宛に接続先URLを送付します。参加者は受信したメールのURLをクリックすることにより、お申込みをされたセッションに参加できます。

（５）初めて利用する場合はアプリケーションのインストールが必要となります。

接続先URL（セッション毎に以下の例のようなURLとなります）

例 https://zoom.us/j/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

・Zoomの起動後は「コンピューターでオーディオに参加」を選んでください。

（６）聴講者側の設定として、ビデオ映像をOFF、音声をミュートにしてください。
（管理者側にて、ビデオ映像をOFF、音声をミュートに設定をいたします）

（７）Web開催研究会のスピーカー・マイク事前テストについて
Web開催に参加する前(または開催中)にマイク/スピーカーまたはビデオ、オーディオをテストすることができます。**初めて使用される方は、こちら　から接続のテストをお勧めいたします。**

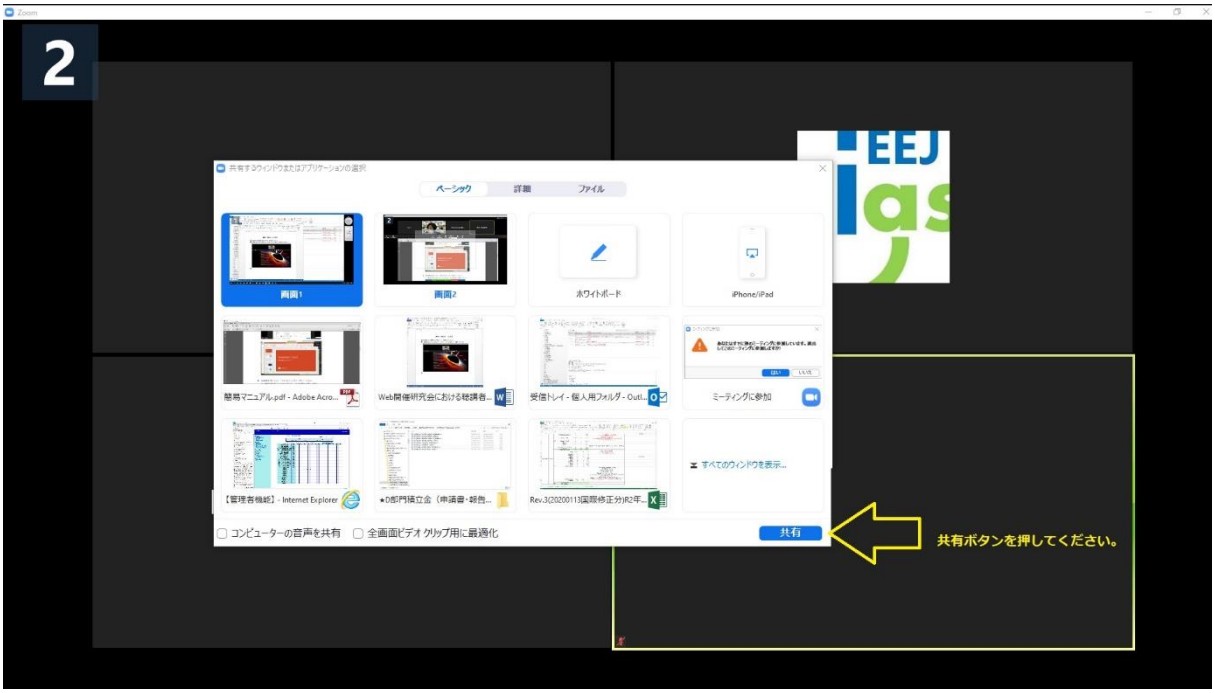
（８）参加者名の設定について
セッション座長が、誰が発表者で誰が聴講者か識別し易くするため、参加者名を下記の例にしたがって氏名・所属の情報を含むようにご入力設定ください。なお、会議室に接続後でも変更可能です。

〔例〕　発表者の例：[発表者]電気花子(でんきはなこ)_△△大学
共著者の例：[共著者]電気花子(でんきはなこ)_△△大学
座長の例：[座長]電気太郎(でんきたろう)_○○株式会社
聴講者の例：電気次郎(でんきじろう)_□□□大学

（９）質疑などで発言をされたい場合は、参加者画面で挙手するか、チャットで意思表示をお願いいたします。その後は、座長の指示に従って、マイクのミュートを解除し、必要に応じて所属と名前を名乗ってから発言し、発言終了後は再度ミュートをオンにしてください。
但し、参加人数が多い場合は、挙手機能は使用せず、座長に一任することもございます。

発表講演者へのご案内

■　「画面を共有」ボタンを押していただき、スライドを提示してご発表いただきますので、
パワーポイントを起動後、Zoomの「画面を共有」でパワーポイントを選択してください。



■ 発表・質疑応答が終わりましたら、「共有の停止」ボタンを押してください。
画面を共有できるのは1人のみとなりますので、次の講演者へお譲りください。

● ビデオカメラについては、原則、オフにしてください。

● マイク機能については、ノイズ等の防止のためミュート(オフ)にしてください。

・原則、質疑応答の発言の際のみ座長の指示にしたがってマイクをオンにしてください。

・ミュート中にスペースキーを押すと、押している間だけミュートがオフとなります。

【Zoomビデオ会議システムを初めて利用する場合】

Zoomビデオ会議システムを初めて利用する場合は、アプリケーションのダウンロードとインストールをする必要がございます。**ZOOMマニュアル：** https://zoomy.info/manuals/

(https://zoom.us/)

外出先でのビデオ会議利用を予定している場合は、WiFi等のネットワーク環境が悪いとダウンロードに時間がかかり研究会の開始に間に合わないことがございますため、事前にネットワークが十分な場所にて動作確認をしておくことをお勧めいたします。また、音声の送受信に問題がないかも、事前に確認しておいて下さい。

■□　Zoomを使用いただく上での重要なお願い　□■

Zoomは最新版でないと使えない機能があるだけではなく、**セキュリティの強化も含め**、アプリケーションをインストール済みであっても**必ず最新版のバージョンにアップデート**いただいた上で、研究会にご参加くださいますようお願いいたします。

下記URL先のCurrent Releaseよりバージョンをアップデートいただけます。

https://support.zoom.us/hc/en-us/articles/201361953-New-Updates-for-Windows

Zoom のセキュリティに関する報道等について

Zoom のセキュリティに関して、いくつかの報道がなされておりました。4 月 23 日現在までに確認ができた報道について、その深刻度や解決状況等を調査しましたところ、Zoom のソフトウェアおよびシステムにはいくつかのセキュリティ上の問題点が存在しましたが、現在までにすべて解決されております。このため、前頁でも記載をしましたとおり、ソフトウェアを**最新版のバージョンにアップデートをすることが重要**となります。

一方、その他の問題は、Zoom Bombing のように、Zoom の機能に欠陥があるというよりも、使い方に気を付ける必要がある事象となります。

弊会研究会では、事前参加登録を行うことにより個人を特定できるようにし、参加者用（URL）接続先にパスワードをかけ、また、主催者側でも参加者の管理を徹底いたします。

■Zoom のセキュリティ・プライバシーへの対応状況について

http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/03-data/Zoom_Security_for_Customers.pdf

●ご所属先の都合により、どうしてもZoomを使用できない場合、録画・録音したデータを研究会担当幹事宛に事前送付いただければ、研究会担当幹事側にて代理で再生をすることができます。なお、質疑応答の際は個人のスマートフォンからのご参加いただければ幸いです。

共有資料等への配慮について

他人の著作物の無断使用とならないよう、引用として出典を明確にすることはもちろんのこと、学会でのオンラインでのご発表は自動公衆送信による再送信とみなされることを踏まえた内容の事前確認が必要となります。考慮すべき範囲は、研究会に参加できる者の範囲によっても変わりますため、具体的な対応については、主催者の指示に従ってください。

また、発表者のご所属が企業の方の場合や、大学でも受託研究・共同研究などで事前に発表の形式、聴衆の範囲などの許可を取っている場合は、開催形式がオンライン発表に切り替わった場合では、再度の許可手続きが必要である場合があるため、ご所属の機関に適宜ご確認ください。特に輸出貿易管理令に抵触する内容の場合などでは、オンラインでの配信は許可されないこともあるので、発表者におかれましては十分にご注意下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。